

やつおせて

2025 No. 47 (4月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～



旭地域5センターの雛人形が大集合した「ひな在月」は無事終了。和田まちづくりセンターからは手芸教室の吊るし飾りも展示しました。引き続き、和田まちづくりセンターの玄関に4月4日（金）まで吊るし飾りを展示しています。ぜひ！お越しく下さいね!! (つぬ)

お知らせ



駐在所・警察署への 電話のかけ方が変わります!



駐在所への電話

4月1日から県内の全ての駐在所の電話が廃止されます。

浜田市内の方は、**24時間**
浜田警察署（本署）
0855-22-0110
にお願いします。

警察署が対応しますので、お名前と要件を伝えて下さい。

状況に応じて、そのまま駐在所に電話を引き継いだり、署員がお伺いしたりします。

警察署への電話

県内では、警察署に音声ガイダンスが順次導入されます。

浜田警察署は、4月以降に予定されています。電話をかけると、要件を聞く案内が流れ、要件先の番号を押すと担当に繋がります。**お急ぎの要件は、110番**におかけ下さい。



高速バス（広島線）について

令和7年3月30日（日）より、高速バス（広島線）の運賃改定します。詳しくは、石見交通株式会社のホームページをご覧ください。まちづくりセンターにもチラシを掲示しています。

肛門ガツパの親分

第1話



文 佐々岡健次

寒い…

やっと暖かくなって、ひと安心だ。
いつもの事だが、この冬も寒さの中でトイレには苦勞した。とにかく寒いと夜中には行きたくないが、起きるしかない。寒いトイレに急ぐ。そして部屋に戻り、冷たい布団にもぐり込む。が、眠れず朝を迎える。
今日も寝不足かよオ…。やれんのオ。

ありがたい…

1人暮らしの私は、誰とも口をきかず、1日終わることがある。これじゃあ声も出なくなるんじゃないかと心配になる。まず、声を出すことが元気のもとと思う。美又の展示場にいるとお客さんが入ってきて妖怪の話になるのだが…この寝不足の日だけは調子悪くても、相手の方と話をする。これが私の「脳ミソ」の活性化に役立っているものと思って、寝不足もかまわず頑張ってテンションをあげて受け答えをする。その日は疲れるが…これが生きていと云う事。

今も50点ばかりの作品を今年3月で3年美又温泉国民保養センター横で展示させてもらっている。ありがたい事だ。

おどろき！

お客さんは「日本一のツルツル温泉」に入りに来て、妖怪に興味をもった人々が私の絵を見る為に寄ってくださるのだ。ここに「肛門ガツパ」の絵もある。その話を説明する度に、肛門ガツパの親分は何処に住んでいたのだろうか？と常々思っていた。そんなある日、私と同年配の兄さんが訪ねて来た。

「わしゃあ、知っとるでえ～」と云う。「ええ～」びっくりこいておもわず手をにぎった！「お…教えてください！」私が男性の手をにぎる事はめったにないが…それほど興奮したのだ。

次回は…

親分の住処を知ってる男性は、さらに佐々岡さんを驚かすことを云う！次回を、お楽しみに！

教子ウイムセットの海外便り 第25回

文・写真 教子ウイムセット



バスケットボール部へ
入部する！



皆様、こんにちは。去年の秋からジャマインとパリスの2人が学校のバスケットボール部へ入り、2月末まで頑張りましたので、その様子をお知らせいたします。さて、アメリカの学校で入部するスポーツは、毎年、数ヶ月間ほど期間限定で競技する仕組みになっており、日本の学校にある部活のように毎日活動するわけではありません。



息子たちは、冬はバスケットボール、春はサッカー、野球、ゴルフと毎回自分たちが興味のあるスポーツに挑戦することができます。そして、毎回スポーツに参加する前には、親と学校側が契約書に署名する決まりとなっています。(訴訟社会のアメリカならではの？なのかもしれませんね)

放課後には、毎日1時間半ほど練習をし、他の学校とスケジュールを合わせて試合をします。面白いことに、リーグ戦の相手チームは、学校から車で2時間かかる場所にあるにも関わらず、試合は週末ではなく、平日の日中にあるため、バスケットボール部だけ、その日は授業を途中から抜けて試合に参加する特権があります。



バスケットボールを通して、子どもたちはチームワークを学べますし、高校生とも一緒に練習をしますので、様々な技術を教えてもらう機会もあり、伸び伸びと楽しそうにプレイしています。

私が小さい頃は、スポーツは忍耐と根性で監督に叱られても負けない！くらいの気合いがないと続かなかったように思います。しかし、こちらでは好きなスポーツを楽しむ、仲間や監督、先輩に褒められて上手くなるという、自分を肯定する気持ちや自信に繋がるやり方をしているように感じます。若いっていいな、チームプレーっていいな、と彼らを見ながら羨ましく思う私です。さて、彼らは春は何のスポーツに挑戦するのでしょうか？今から楽しみです！



3月11日（火）今年旭中学校を卒業された3名に、和田地区民生児童委員協議会と和田まちづくりセンターより卒業お祝いの品、地区まちづくり委員会（総務企画部会）よりお祝いの色紙を贈りました。

小学校の頃から見守っていた民生児童委員の小笠原さんから「背が伸びたよね」と声をかけられると「中学校の3年間で、10cm以上伸びました」と笑顔で答えていた3名。ずっと同じクラスで過ごしていましたが、この春から2名が地元を離れ、寮生活をおくります。「今から出会う人達を大切に！高校生活、夢をいっぱい追いかけてください。」と、民生児童委員の馬場さんからエールが送られました。



イルミネーション点灯式では、歌やハンドベルで会場を盛り上げました。（R4 中学1年生）

暑い日も寒い日も、バスケの練習を頑張ってたね！高校生になっても練習しに来てね。（R5 中学2年生）



フリースロー大会



スポーツ交流では、放送や器具運搬などで、協力してくれました。ありがとう！（R6 中学3年生）